

キュウトビ

九国の扉

学校法人九州国際大学
学園広報誌「キュウトビ」
vol.8/2011 春号
発行日/2011年3月17日



特集 九国付

野球部 春の選抜甲子園出場
サッカー部 歴史的なPK戦

TOPIQ
九国の挑戦者たち

学園で活躍する九国の学生、生徒を紹介！

東北地方太平洋沖地震の
義援金募金を呼びかける九国大生たち



東北地方太平洋沖地震発生から3日後、「今、自分たちができること」を合言葉に九国大生が集い、自発的に募金活動[※]を始めました。

テレビのニュースで伝えられる未曾有の大震災。甚大な被害を受け、辛い想いをされている東日本の方々を想い、「とにかく動かなければ」と胸を痛める学生の輪は、瞬く間に近隣の中高生にも広がり、総勢25人の学生スタッフが、毎日交代で周辺の駅構内に立ち、正午から夜20時まで募金を呼びかけました。

学生スタッフのひとりには、「本当に多くの方々に温かい言葉で励まされ、人の優しさに触れることができました。募金していただいた方の中には、『ちゃんと届けてね!』と声を震わせてお金を託され

る方、『体に気をつけて、がんばってね』と励ましの言葉をかけてくださる方、また、小さな貯金箱を差し出してくれた小学生くらいの男の子など、皆さんから本当に多くの真心をお預かりしました」と話してくれました。

学生スタッフは最後に、「皆様からお預かりしました総額百四十万八千五百九十二円の募金は、責任を持って被災された方々に届けさせていただきます。本当にありがとうございます」と声を震わせて話してくれました。

[※]平成23年3月14日から16日の3日間、大学周辺の八幡駅、戸畑駅、スベースワールド駅構内で行われた募金は全額、八幡東区役所まちづくり推進課にお渡しいたしました。皆様のご協力に心よりお礼申し上げます。

Contents

(付属中高一貫部メインイベント)

- 03 音楽祭
 - 海外体験教室
 - 古都探訪
- 04 百人一首大会
 - ハングル講座
 - マラソン大会

(付属高校メインイベント)

- 05 春の選抜甲子園
- 06 歴史的なPK戦

(大学メインイベント)

- 07 地域安全マップ
 - 第56回学園祭
- 08 日本学生経済ゼミナール
 - 体育会本部設立40周年式典
 - 九国大生のラジオ番組

(学園のTopicをPick up)

- 09 TopiQ
 - 九国の挑戦者たち

(メディアの記事を紹介)

- 11 メディア・ダイジェスト

(学園OB紹介)

- 13 九国DNA
 - 武田秀之さん
 - 「ハローワークやはた」

(ザ・北九州学)

- 14 近代化遺産の旅
 - 「東京製綱小倉工場」

その2

九州国際大学 法学部 「地域連携型体験教育による就業意欲の向上」

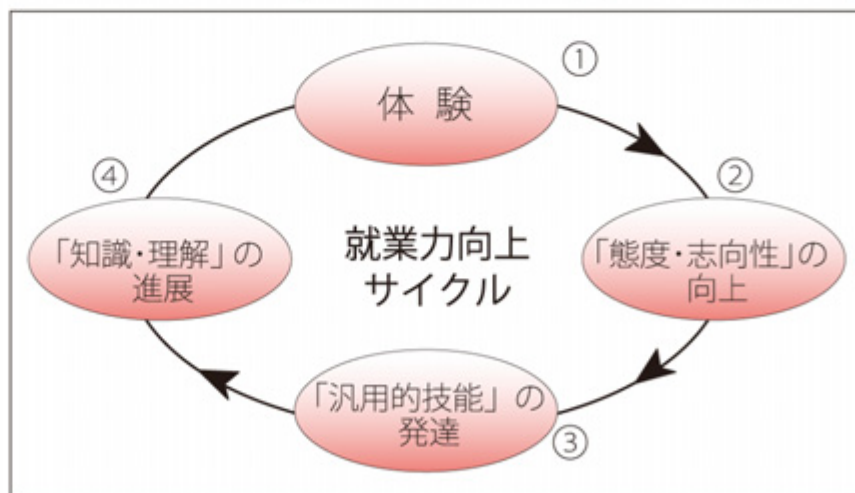


◎宗像グローバルアリーナで開催された「就業力育成支援事業」学生宿泊研修で熱論を交わす九国大生

九州国際大学法学部では、「リスクマネジメント・プログラム」と「資格取得・不動産管理プログラム」において、警察・消防・企業等の地域社会と連携しつつ、学生の職業意識等を高め、就業に必要な知識やリテラシーを育成して、就業力の強化を図っています。

もともと法学部は、警察官や消防士等の地方公務員や地域で法律実務を担当する人材を多数輩出してきました。このような人材をさらに育成するため、法学部は体験型教育等によって、修学意欲を高め、協同学習やアクティブ・ラーニング等により、コミュニケーション能力やリテラシーを育成し、実用的な専門知識の修得に繋がります。

このサイクルを毎年繰り返し、就業力の育成を図っています。



	①体験型教育	②態度・志向性	③汎用的技術	④知識・理解
初年次	学外施設の見学・研修	意欲の向上	コミュニケーション能力	分野の体系的理解
2年次	地域連携学習	チームワーク	論理的思考力	自己との関連的理解
3年次以降	インターシップ	就職意識	問題解決能力	地域との関連的理解

文化・芸術をとおして「本物を体で吸収する」、付属中学校の伝統行事「音楽祭」が昨年12月12日(日)に北九州市立響ホールで開催されました。

今回で第11回目を迎える音楽祭。激しい練習を乗り越えてきた生徒たちの歌声は、リハサルから熱を帯びていきました。13時に開演した音楽祭の第一部は「クラス合唱コンクール」。どのクラスの合唱も練習を上回る声量で教職員を驚かせました。

第二部は、オーディションを通過した生徒による楽曲の発表でした。ピアノやクラリネット、サクソフーン、トランペット、トーンチャイム、合唱など、練習の成果を存分に発揮してくれました。

続く第三部では、NHK交響楽団の首席代行コントラバス奏者の市川雅典さんとピアニスト佐藤紀子さんらによる、息のあつた素晴らしい演奏を鑑賞しました。

最後を締めくくると第四部では、中学生全員がステージに上がり、校歌「勇気の風」「オムニバス・スター」「光年の旅」を全員で合唱しました。

生徒たちの澄みきった歌声がホールを包み、全員が一丸となって取り組んだ第11回音楽祭は幕を閉じました。

第11回 音楽祭 九州国際大学付属中学校



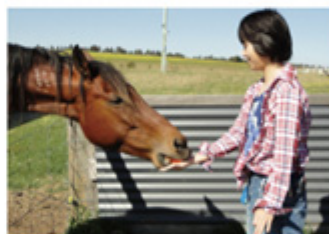
音楽祭にかける生徒たちの熱い思いが
清らかな歌声となって聴衆の心に響き渡りました。

01



海外体験教室 02

南半球で未知との遭遇
オーストラリア
7日間の海外体験教室



昨年10月27日～11月2日の7日間、中高一貫部の4年生による海外体験教室(inオーストラリア)が実施されました。観光地巡りやホストファミリーと過ごすファミリー(農場体験)、そして現地の生徒と触れ合う学校訪問など、さまざまな発見や人々との出会いが一生の思い出として、生徒の胸に深く刻み込まれました。

古都探訪 03

ニッポン・再発見!
歴史と文化の町、
古都を探訪しました



今年、2月2日(水)～4日(金)の2泊3日の日程で付属中学2年生は、京都・奈良への研修旅行、「古都探訪」に行きました。古都探訪は、歴史・文化の宝庫である京都・奈良を訪れ、「日本」を再発見しようという目的で行われています。事前に見学地の予習やバスの運行時間、ルートを調べていた生徒

たちは、初日と二日目に遊ごつに分かれて京都市内の金閣寺、銀閣寺、仁和寺、清水寺、三十三間堂などを見学しました。二日目は平等院鳳凰堂、東大寺、唐招提寺、法隆寺を全員で見学。今回の研修で感じたことは今後、紀行文集としてまとめられます。

百人一首大会 04

新春の風物詩
全校生徒が
百枚の札に集中する



1月15日(土)、今年も新春の風物詩、「付属中学校百人一首大会」が盛大に開催されました。古典文学をとおして伝統文化に触れることを目的とした大会も今年で4回目を迎え、全生徒が参加した大会は、いやが上にも盛り上がりを見せました。静まり返った戦場に、「百枚の札を挟んで向き合う生徒たち。上の句が詠まれた瞬間に轟く「はいっー」の声と床板を払う爽快な音が、新年の扉を開く挨拶のように会場に鳴り響きました。

ハングル講座 05

大学の先生に学ぶ
若い時にこそ、幅広く語学を学ぼう



2月初旬に国際教育の一環として開かれた九州国際大学のハングル講座を1年生が受講しました。講師は国際関係学部の森脇喜一先生。これまで三回に分けて行われたハングル講座。最初は慣れずに、ただおとなしく聞いているだけの1年生でしたが、ハングルの規則が少しずつわかってくると積極的に森脇先生に手を挙げて質問し、楽しく学んでいました。最終回では、ハングルで自分の名前を書く練習をしたり、韓国語で挨拶をしたり、楽しく言葉を学びました。講座をきっかけに、1年生たちは韓国やアジア諸国への興味がさらに深まったようです。



マラソン大会 06

駆けぬける青春!
最後まで諦めずにランRunラン



1月29日(土)に東田大通公園で第1回マラソン大会を開催しました。基礎体力の向上と最後まで笑顔で忍耐強く競技することを目的としたマラソン大会は、初級、中級、上級の3コース※が設けられました。雪がちらつく中でマラソン大会でしたが、力強く走る生徒たちの表情は晴れやかで、少しも寒さを感じさせることなく全員完走することができました。この経験を通して培った、「最後まで諦めずにやりぬく」心を日常生活や勉強に活かして頑張ってもらいたいです。

※初級コース3.1km、中級コース6km、上級コース7.3kmで行われました。

春の選抜甲子園

3月23日開幕(29年ぶり2回目出場)

九州国際大学付属高校野球部が、平成23年3月23日(水)から阪神甲子園球場で行われる第83回選抜高校野球大会への出場を決めました。

これは、昭和57年に前身の八幡大学付属高校が初出場して以来の29年ぶりの快挙となります。福岡県予選で見事優勝し、九州大会では専大玉名(熊本)、沖繩尚学(沖繩)、波佐見(長崎)と強敵を次々撃破しました。

決勝戦では、鹿児島島実(鹿児島)に惜しくも敗れましたが、九州2位というすばらしい結果での甲子園出場です。主将で捕手の高城君、エースの三好君を中心とした今年のチームは、2年前の夏と同様に多くの人々に夢と感動を与えてくれると思います。

東日本の方々が、この度の大震災で甚大な被害を受けている今、球児たちは、被災者の皆様に勇気と力が湧くようなプレイをめざします。



キャプテン
高城俊人くん(2年)

昨年、先輩たちが夏の甲子園に出場したときは、ベンチの中で「自分もこのグラウンドでプレイしたい」と願ってききました。甲子園出場を目標に毎日、全員で厳しい練習を積み重ねてきましたが、今回、正式に選抜出場の報告をいただき、涙が出るほど嬉しかったです。チームを引っ張ってくれた監督や支えてくれた方々に恩返しをするためにも、全員一丸となって頑張ります。

監督	若生 正広	補	谷口 浩行 (2)
部長	佐伯 健司	補	西岡 大介 (1)
投	三好 匠 (2)	補	鮎川 祐輔 (2)
捕	高城 俊人 (2)	補	内川 玲生 (2)
一	花田 駿 (1)	補	古長 拓 (1)
二	平原 優太 (1)	補	林 強太 (1)
三	時吉 誠也 (1)	補	北川 竜也 (2)
遊	石迫 悠摩 (1)	補	川波 宏太 (1)
左	加藤 凌 (2)	補	児玉 龍也 (2)
中	安藤 彰斗 (2)	補	園田 友介 (2)
右	龍 幸之介 (1)	補	山外 晃也 (2)



歴史的なPK戦を制し 九国付が全国大会出場

4年ぶり2回目となる
全国の切符は、歴史的なPK戦

九州国際大学
属高校サッカー部が
第89回全国高校サッ
カー選手権大会に
出場しました。

全国大会の出場
は4年ぶり2回
目となり、サッカー部
のみならず学校全
体が大いに盛り上
がりを見せました。

全国大会の前哨
戦ともなる福岡県
大会決勝戦では、延
長戦でも決着がつか
ず、PK戦へ。21対
20の壮絶なPK戦
を制して、付属高校
が全国大会への切符
を勝ち取りました。

昨年12月30日よ
り開幕した全国高
校サッカー選手権大
会では、持ち前の攻
撃力で第1回戦を
4対0で突破し、九
国サッカーを全国に
アピールしました。
続く、2回戦では
幾度もチャンスを作
りながらも相手アイ
フエンスに阻まれ、
惜しくも1対2で
敗退しました。

しかし、サッカー
部が目指す、「試合
を観に来た人がま
た観たくなるよう
な試合」を展開し、
最後まで諦めない
サッカーを、全国大
会という大舞
台で見事に実
践することが
できました。

付属高校サッカー一部
杉山公一監督

今回のメンバーは、4年前の全国大会出場時より、個性が強く、それぞれが持ち味を発揮することができたチームでした。
今後も大きな大会でも、常に注目されるような「常勝軍団」を育てていきたいと思っています。
また、会場で応援して下さった皆様には、勇気を与えてもらいました。
本当にありがとうございました。

キャプテン(DF)
工藤真仁くん(3年3組)

高校での思い出は、宮崎の夏合宿です。
ハードな練習を積み重ねて、毎日、限界の向こう側を見てました(笑)。
強豪校がひしめく福岡県大会を勝ち抜くことができたのも、自分たちをたくましく育ててくれた監督、そして、長い間、支えてくれた両朝のおかげだと、心から感謝しています。



九州国際大学×花尾小学校 コラボで育む地域の安全。



01

昨年11月17日(水)、18日(木)に法学部山本ゼミ生と花尾小学校4年生によるコラボレーション、「地域安全マップ」の制作が実施されました。山本ゼミでは、「犯罪とは特定の場所から起きる」という観点から、小学生に自分の目で危険な場所を認識し、犯罪に巻き込まれないための「地域安全マップ」の制作を呼びかけています。

初日は各グループに分かれ、指定された小学校周辺エリアをフィールドワークし、通学路に潜む入り込みやすく、人から見えにくい場所や普段の生活では意外と見落としがちな危険な場所を子供たちと調査しました。大学生はこの取り組みについて、「自分の町に恐怖感を植えつけるのが目的ではなく、危険な場所を認識して安全に暮らしてもらうこと」と話してくれ



ました。最終日には、前日にまとめたポイントをもとに「地域安全マップ」が完成。後日、開催された発表会で小学生たちは完成したそれぞれのマップを前に、誇らしげに地域の安全と魅力について語ってくれました。



第56回学園祭「橘祭」

02

おかげさまで8,200名のご来場！

昨年11月6・7日に第56回九州国際大学学園祭「橘祭」が開催されました。「来場者数1万人！」を目標に掲げた今回の学園祭では、平野記念館側エリアにメイン会場を移し、新鮮野菜の青空市場やカリスマ美容師による無料ヘアサロン、そして国際色豊かな食料品が並ぶ多種多様の模擬店などが、総数87店舗の模擬店が来場者を歓迎しました。

また、ダンスフェスティバル特設ステージでは、北九州各地で活躍する約50の

ダンスチームのダンスが連日披露され、クオリティの高いパフォーマンスで来場者の目を釘付けにしました。その他、文化系サークルによる演劇部の公演や軽音楽部のライブなども開催。学園祭最終日のライブでは、女性アーティストBENIが大勢の観客を魅了し、学園祭史上もっとも賑やかな橘祭が幕を閉じました。



※学園祭当日の様相(画像)は、大学ホームページから確認することができます。



日本学生経済ゼミナール

全国の大学生がインター大会に集い

アイデアを伝え、議論する

全国の経済学部学生による年一度の研究発表の場として、日本学生経済ゼミナール（通称インター大会）があります。第57回となる今年度の開催校となった中央大学には全国から一五〇〇人を超える学生が集まりました。本学経済学部からは、昨年度の関西大学大会に続いて二度目となる山口ゼミ（経済統計）14名と、今回初参加の上坂ゼミ（金融論）10名が参加しました。山口ゼミは経済統計部門の「格差社会の統計分析」分科会に参加し、中央大学と東北学院大学で統計学を専攻するゼミの学生と討論しました。所得統計や消費関連統計を年齢階層別に比較



することを通して、若年層の貧困化が進んでいることが明らかにされました。上坂ゼミは「たばこ税について考える」、「金融危機における日本企業」、「日本の経済停滞からの脱却」、「世界金融危機の下における日本の金融システム」の4グループに分かれ、それぞれ論文を作成し、福岡大学、山口大学、熊本県立大学などの学生と討論しました。

ゼミ論文の作成やプレゼンテーションの準備作業は大変で、とくに、他大学の学生との他流試合に臨む前の学生たちは緊張感に押しつぶされそうになります。大会を終えた後の学生たちの表情は一樣に自信に満ちた顔つきに変わります。

今後は、ゼミ活動をさらに活発化させ、いつかインター大会を本学に招致できるように目指します。



体育会本部設立40周年式典

全国各地のOBが40年の時を越えて

体育会本部設立式典を祝う

昨年12月に「九州国際大学体育会本部設立40周年式典」が小倉駅横のリーガロイヤルホテルで開催されました。初代OBをはじめとして、一〇名もの方々が会場に足を運んでくださり、料理を囲んで40年の思い出に浸りました。そして、いつしか談笑の輪は、大学生を巻き込み、OBからの温かいアドバイスや期待の声が寄せられ、世代を超えた語らいの場へと変わりました。

最後は、参加者全員による学歌斉唱。一〇名の九国人が肩を組んでの斉唱は、まるで先輩方が現体育会本部へ期待をつなぐ、応援歌のように会場に響き渡りました。



九国大生のラジオ番組「ぶっちゃけ！」が放送開始！

毎週火曜日19時から1時間、FM88.2MHz

北九州の大学生を元気にするラジオ番組

昨年の11月末に九州国際大学の大学生によるFMラジオ番組「ぶっちゃけ！」がスタートしました。「北九州の大学生を元気にする」をテーマに毎週火曜日19時〜20時の1時間、若松のFM放送局から放送する「ぶっちゃけ！」は、九国大生を中心に市内の大学生を招いて、サークルや諸団体の活動をエネルギーギッシュに紹介します。

また、番組では、皆さまのご意見やご感想も募集していますので、ふるってご参加ください。

※番組の（動画）は、大学ホームページから確認することができます。



毎週火曜日19:00~20:00 On Air

FM88.2MHz

ご意見・感想はmail@hibiki.882.jpでお受けしております。

九国の挑戦者たち



「音の夢ピアノコンクール」 準グランプリ

(中高一貫部) 多田 大致 さん

昨年11月、佐賀県鳥栖市で開催された「音の夢ピアノコンクール」に付属中・高等学校一貫部5年生の多田大致君が出場しました。

幼児から一般の演奏者249名が美しい調べを奏でる中、多田君は、見事、準グランプリに輝く成績を修めました。

多田君のコメント

「コンクールの本選では、バッハと僕の一番好きな作曲家、ラフマニノフの二曲を弾きました。

昔から、バッハは苦手なで…、というよりも、弾くことを嫌がったことで苦手になっ

たのかもしれませんが(笑)。

本番当日もなかなかうまく弾くことができませんでしたので、まさか準グランプリが取れるなどとは、夢にも思っていませんでした。

きっと、もう一曲のラフマニノフがうまく弾けたからだと思います。このことで、さらにラフマニノフが好きになりました。今度の四重奏では、ショパンのピアノ協奏曲1番の第3楽章を弾こうと思います。テクニックが重要な曲なので、たくさん練習してがんばりたいと思います」



学園全体(中学・高校・大学・大学院)のトピックをまとめてお送りする「TOPiQ」。学園はまさに人材の宝庫!



ANAアジアユースジャパン U17&15
バドミントン選手権大会 2010 ベスト8

(中高一貫部) 馬場 湧生 さん

オリンピックや世界選手権など、将来、日本代表選手としてさまざまな大会で活躍する選手を育成する「ジュニアナショナルチームU-16」に選ばれた馬場湧生君(中3)は、今年、開かれた強化合宿で技術を磨き、昨年、中学最後の全国大会で見事、ベスト8という輝かしい成績を修めました。

また、10月にはアジア各国からバドミ

ントン選手の精鋭が集う「ANAアジアユースジャパンU17&U15バドミントン選手権大会2010」で見事、ベスト8を勝ち取りました。

今春、本校付属高校生になる馬場湧生君は、3年後に地元福岡で開催されるインターハイで団体戦、個人戦ともに優勝することを固く誓いました。



3

全九州高等学校選抜バドミントン競技大会（団体戦） 男女アベック優勝 （高校） バドミントン部

佐賀県で行われた全九州高等学校選抜バドミントン競技大会（平成 22 年 12 月 24 日～ 27 日）において、男女両バドミントン部が団体戦で九州各県の強豪校を連破し、アベック優勝を達成しました。団体戦でのアベック優勝は選抜九州大会史上でも初めてという快挙であり、歴史に名を刻む好成績を残しました。

また、男子個人戦シングルスでは、2年生の森田浩平

君（九国付中）が優勝、ダブルスでも森田浩平君・石山裕基君（中間南中）の2年生ペアが優勝を飾りました。森田君は選抜九州大会において福岡県勢としては初の3冠を達成しました。

男女両バドミントン部は、九州王者として3月に和歌山県で開催される全国高等学校選抜バドミントン競技大会に出場します。



4

東北楽天イーグルス 4 位指名 （付属） 榎本 葵さん

昨年、星野仙一監督の率いる東北楽天ゴールデンイーグルスにドラフト 4 位指名を受け、現在、一軍入りを目指して猛進する榎本葵選手から、メールが届きました。

白球にかける情熱は、高校時代のまま。新天地で汗を流す榎本選手をこれからも応援よろしくお願いします。



from 榎本 葵さん
sub 「がんばってます！」

1月8日に楽天イーグルス寮に入寮しました。そして、新人合同自主トレが1月10日に始まりました。

最初はとてもしっかり、これから先どうなってしまうのか不安になりました。しかし今では、練習にも慣れてきました。

2月から始まるキャンプを怪我なく乗り越え、一軍で活躍できる日が早く来るよう頑張りますので、これからも応援よろしくお願いします。

5

第 56 回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会 団体優勝 （大学） ウエイトリフティング部

昨年、10月31日（日）に横浜で開催された「第56回全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会」で大学ウエイトリフティング部が見事、団体優勝し、2年ぶりに全国の大学の頂点に立ちました！！個人の成績は右のとおりです。

赤嶺直樹（3年）	56kg 級（第3位）	S100kg、J128kg	合計 228kg
高尾宏明（1年）	56kg 級（第4位）	S100kg、J123kg	合計 223kg
村上道人（2年）	69kg 級（第1位）	S126kg、J146kg	合計 272kg
上島晋作（3年）	77kg 級（第5位）	S125kg、J148kg	合計 273kg
村上広大（4年）	85kg 級（第1位）	S130kg、J163kg	合計 293kg
島田賢作（4年）	85kg 級（第3位）	S128kg、J154kg	合計 282kg
白石宏明（3年）	105kg 級（第1位）	S146kg、J196kg	合計 342kg
佐藤 匠（4年）	+105kg 級（第3位）	S145kg、J167kg	合計 312kg



新聞やテレビで紹介された見出し

大学関連記事

平成22年

11月

- ◆本学客員研究員市原猛志氏
「工場深萌えの聖地に」
(朝日11/10)
- ◆佐木隆三氏講演会
(西日本11/16)
- ◆八幡東署長が警察の職務解説
(西日本11/9)

12月

- ◆MVPに九六・新井(九国大)
「秋季リーグ21選手を表彰」
(西日本12/12)
- ◆福岡ワイド「ふるさと・人・話題」
「九国大ウエイトリフティング」
コーチ・太田和臣
(西日本12/17)
- ◆九州学生駅伝対抗選手権
(西日本12/5)
- ◆観光ビジネスコース開設
記念文化講演会
(西日本12/7)

平成23年

1月

- ◆成人式・挨拶「宮崎由真さん」
(毎日、朝日1/10)
- ◆重量挙げ福田監督
「重力に打ち勝った感覚」
(西日本2/13)

付属中学・高校関連記事

平成22年

11月

- ◆高校サッカー準決勝
(朝日11/1)
- ◆榎本君楽天指名挨拶
(西日本11/5)
- ◆付属高校サッカー決勝戦
(西日本11/8)
- ◆九国大付4年ぶり優勝
「PK44本の白熱戦に拍手」
(毎日11/8)
- ◆サッカー・野球部活躍報告
「全国へ期待と抱負」
(朝日11/10)
- ◆付属野球部、榎本君楽天仮契約
(西日本11/16)
- ◆バドミントン全種目制覇
(西日本11/16)
- ◆サッカー部抽選会健闘誓う
(西日本11/23)

12月

- ◆サッカー部県知事表敬訪問
(朝日、西日本、朝日12/9、毎日12/11)
- ◆九国大付健闘誓う
「北九州市長を訪問」
(朝日、朝日12/14)

12月

- ◆サッカー部県知事表敬訪問
(朝日、西日本、朝日12/9、毎日12/11)
- ◆九国大付健闘誓う
「北九州市長を訪問」
(朝日、朝日12/14)
- ◆市環境科学研で講座
「付属高校2年山口枝里さんコメント」
(西日本12/15)
- ◆九国大付、初優勝目指す
「全員で攻めて守る」
(朝日12/18)
- ◆「頑張つて」高校サッカー九国大付
(朝日、毎日12/28) **平成23年**

1月

- ◆九国大付4×0圧勝
「後半出場の田口ハット」
(毎日、西日本、朝日1/1)
- ◆全国高校サッカー選手権大会
「九国大付敗れる」
(西日本、朝日1/3)
- ◆九国大付中百人一冒大会
(西日本1/18)
- ◆選抜高校野球
「九国大付29年ぶり春」
(朝日、毎日、西日本、朝日1/29)
- ◆センバツ九国大付
「監督の言葉に奮起」
(毎日1/31)



ラジオ番組で紹介された内容

北九州の大学生を元気にするラジオ
「ぶっちゃけ！」FM88.2MHzの放送内容

九国大生がメインパーソナリティを務めるラジオ番組「ぶっちゃけ！」は、毎週火曜日 19:00～20:00の1時間、コミュニティFM放送局からお送りしています。ご意見ご感想の宛て先は mail@hibiki888.jp です。

ぶっ
Buchake FM88.2MHz
ちゃけ
北九州の大学生を元気にするラジオ



第15回放送「劇団なべぞこ編」
(Youtube 平成23年3月11日配信)

15回目の放送は、市内の大学演劇部からなる「劇団なべぞこ」のメンバーが出演してくれました。他大学の演劇部との交流や演劇の魅力について存分に話してくれました。



第14回放送「チアリーディング部編」
(Youtube 平成23年3月4日配信)

14回目の放送は、本学チアリーディング部の部長、棟原さん出演してくれました。チアリーディングの知られざる世界を存分に話してくれました。



第13回放送「バスケット部女子マネ編」
(Youtube 平成23年3月1日配信)

13回目の放送は、九州大学バスケットボールリーグ1部で活躍中の本学バスケット部女子マネージャー富田さんが出演してくれました。バスケットの魅力とマネージャーの仕事内容を存分に話してくれました。



九国大生を送る 現地レポート 「留学ブログ」

九国 留学ブログ

検索

九州国際大学では、学内の海外留学制度を利用して、多くの九国大生が世界各国の大学や語学スクールで見聞を広め、異文化交流に励んでいます。そんな九国大生が現地の情報を大学ホームページの「留学ブログ」で紹介しています。



Mr.Nishimura 留学ブログ

【台湾 国立高雄餐旅大学】(平成23年2月から一年間)
西村 昇平さん(写真中央) 国際関係学部
一番最後に交換留学が決まった西村さんの留学先は、西原さんと同じ、国立高雄餐旅大学。留学中の目標は、「友人と自転車で台湾1周」することと語る。持ち前の明るさで人の輪をつなぐ。



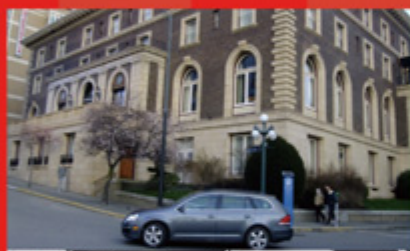
Mr.Nishihara 留学ブログ

【台湾 国立高雄餐旅大学】(平成23年2月から一年間)
西原 拓郎さん(写真右) 国際関係学部
国立高雄餐旅大学で台湾の観光やサービスについて、徹底的に学ぶ西原さんの一年間の目標は「友だち100人計画」。日本の文化、「マンガ」の知識を武器に目下、学生寮で大活躍中。



Ms.Sato 留学ブログ

【台湾 南開科技大学】(平成23年2月から半年間)
佐藤 瑠璃さん(写真左) 国際関係学部
台湾の南開科技大学に単身留学することとなった佐藤瑠璃さん。留学中の目標を「日本語や英語に頼らず、中国語だけで生活すること」と語る彼女だが、実はもうひとつ「学食の全メニューを食べつくす」というグルメな使命を帯びている。



Ms.Katsumi 留学ブログ

【カナダ Global Village ENGLISH CENTERS Victoria 校】
(平成23年2月から半年間) 勝 奈世実さん 国際関係学部
私費でカナダの語学学校に半年間留学をしている国際関係学部の勝さん。温かいホストファミリーに囲まれ、カナダの生活習慣や文化など、カナダでの日常生活を綴る大自然留学ブログ。



Mr.Tsushima 留学ブログ

【韓国 東亜大学校】(平成23年2月から一年間)
秘間 涼さん 国際関係学部
韓国の学生寮に滞在中の秘間さんのルームメイトは、韓国の大学生。始めは、部屋に二人だけで会話することに緊張していたらしいが、今では韓国語しか使わない環境に感謝しているという。



Ms.Takahashi 留学ブログ

【韓国 漢陽大学校】(平成23年2月から一年間)
高畑 紗穂さん(写真下段中央) 法学部
テレビで「東方神起」を観たのがきっかけで、韓国に興味を持ちはじめたという高畑さんは、韓国の漢陽大学校に留学中。法学部の彼女が留学中に目の当たりにする、韓国の文化や習慣、人柄、流行など、韓国の魅力をブログで伝える。

サークル ブログ

九国大生を送る サークルレポート 「サークルブログ」

九国大 サークルブログ

検索

サークルのライブな情報をキャッチするのなら、ここサークルブログ。九州国際大学で今もっともアツイといわれるブログです。サークルの日頃の練習や部員の紹介、試合結果など、さまざまな情報が閲覧できます。

閲覧件数部門 **第1位**
15万8000件「軟式野球部」



閲覧件数堂々の第一位は、軟式野球部。日々の練習内容だけでなく、合宿の様子やきめ細かい部員の紹介など、幅広い年齢層から指示されている。

更新件数部門 **第1位**
「山岳部」更新52件



更新件数第一位は、山岳部。山に向かうストイックな姿勢は、サークルブログの更新にも表れている。今後もサークルブログの頂をめざす。

サークルブログ 九国大ブログ王 in2010

※2010年6月1日から2011年3月8日(9ヶ月間)の集計結果をもとに「2010九州国際大学サークルブログ王」を発表しています。

武田 秀之

Hideyuki Takeda

ハローワークやはた（八幡公共職業安定所）



Profile: 武田秀之さん（ハローワークやはた）
 昭和 26 年生まれ（59 歳）。八幡大学（現九州国際大学）法経学部第一分法律学科卒業後、福岡の銀行に 36 年間勤め、昨年 10 月、ハローワークやはたに転職。現在は、学生の職業支援を目的とした「大卒ジョブサポーター」として、教育機関に出張窓口を設け、就職活動に勤しむ多くの学生の心強いアドバイザーとして活躍している。

ハローワークが

九州大に出張開設!

内の就職内定率が 60%を下回る就職氷河期の現在（平成22年12月一日付）、九州国際大学3号館には、内定獲得に意欲を燃やす学生や資格取得を目指す学生たちの姿で連日、賑わいを見せている。

その1階のキャリア支援室に今年1月から、新たに「ハローワーク就職相談コーナー」が開設された。一人ひとりとじっくり向き合う懇切丁寧な指導スタイルが、学生の間に口コミで広がり、相談コーナーには毎回、数名の九州大生や卒業生がアドバイザーの話しを熱心に聞き入る。

福岡の銀行に36年間勤めた後、昨年、「ハローワークやはた」に転職し、現在、専門学校生や大学生を専門とする大卒ジョブサポーターとして、日々、学生の職業支援業務※を主に担っている。

永年勤めた会社を転職

するきっかけとなったのは、昨年のある晩、居酒屋で隣に座った職業安定所に勤務する方と意気投合したこと。「これまで培った人とのつながりを社会に恩返ししたい」という思いが湧き起こり、36年間勤めた銀行を後に、ハローワークへの転職を決めた。

現在、武田さんは、「ハローワークやはた」で勤務するかたわら、九州国際大学に「ハローワーク就職相談コーナー」を開設し、毎週水曜日13時～16時の3時間、大学生や卒業生たちの就職活動に関する悩みを聞いて、本人のやりたい仕事を導き出し、モチベーションを引き出す手助けを行っている。



実際に相談コーナーを利用した学生に感想を尋ねてみると「昨年の途中で頓挫していた就職活動でしたが、武田さんのお話を伺って、また前に踏み出すことができました」と声を弾ませて答えました。

九州大生の印象

武田さんは九州大生を「話を真面目に聞いて、素直に実践してくれる学生が多いですね。やりたい仕事を見つけた途端、企業研究や資格取得など、方向性を定めて邁進する学生が多いのが特徴ですね」と分析する。最後に武田さんは、母校の後輩達に「100%満足できる仕事は、なかなか見つかるのは難しいと思いますが、「これだけは大事にしたい」という事柄は、妥協せず、夢とロマンを持って就職活動に邁進してもらいたいですね」とエールを送った。

※就業支援業務の主な内容

- ①学生のための就職支援（就職ガイダンス、適性検査、履歴書の添削、模擬面接、求人紹介など）
- ②教育機関との連携（教育機関に求人募集を紹介）
- ③企業の求人開拓

ザ! 心 九州 魂

近代化遺産の魂

文:清水憲一(経済学部教授) 「東京製綱小倉工場」

北九州市内の著名な近代化遺産で、現在、解体の危機にある折尾駅舎と東京製綱小倉工場。

民間企業として、わが国最初の洋式ロープ(ケーブル)を製造したのが東京製綱である。1887年に洋学者の渡部温を社長として、渋沢栄一、浅野総一郎、安田善次郎、益田孝など東京財界がバックアップし、近代的製綱会社を主催していた山田昌邦が支配人に就いた。海軍・横須賀製鉄所(後の海軍工廠)からイギリス製製綱機の払い下げを受け、職工長をはじめとして技術者・職工も横須賀からやつて来た。89年から操業を始めたが、当初の原料は麻で、船舶用ロープの供給をめざしていた。

戦争と造船業の発展によ



④ 屋根のノブ意匠



④ 1987年頃の小倉工場

つて着実に業績を上げ、1897年、当時、ヨーロッパで進んでいた鋼索(ワイヤーロープ)の製造に転換し、外人技師を招聘して、深川分工場を建設した。鋼索の原料となる線材は輸入し、国内で発展の途にあった炭坑(常盤)にワイヤーを供給するために、小倉に進出した。これは、当時、最大であった筑豊炭田への販売と原料線材を官営製鐵所から調達できたことが要因であった。

1908年、小倉砂津の工場がついに完成。この時の工場事務所が今でもポツンと建っている。設計者は不詳だが、二階建ての赤煉瓦造りの事務所は外観・内部ともに装飾性に富んでおり、窓廻りには白い石をはめ込み、バルコニーには花模様

部には小さな球状突起装飾によってアクセントが付けられている。内部の天井にも飾り細工がなされ、マントルピースがモダンを彩っている。その後、1917年に原料自給のため、許斐理立地に小倉製綱所が建設され、浅野小倉製綱所(1918年)を経て、現在の住友金属工業(1953年)に至る。2001年に工場は閉鎖されたが、昨年、2010年9月に吉川工業(株)の手に移った。保存するかどうかは不明という。「石炭と鉄」を仲介する記念物なのだが……。



④ 「小倉市街地図(大正8年)」の小倉工場(砂津)と小倉製綱所(許斐)



携帯電話からもブログを
チェックすることができます。

■ 表紙紹介

今回の表紙は、九州国際大学の短期語学研修制度を利用して、オーストラリアでホームステイ生活を満喫する九国大生の画像です。大学からは8名の学生が3週間の語学研修に参加しました。

オーストラリア短期語学研修の留学生生活を記した「留学ブログ」も大学ホームページ上に開設されています。

九州国際大学
HPから

留学ブログ

検索

学園広報誌「キョウトビ」
vol.8/2011 春号
発行日/2011年3月17日

発行 学校法人九州国際大学
学園広報誌作成委員会

〒805-8513

北九州市八幡東区平野二丁目5-1
TEL:093-671-8900 FAX:093-671-9032



80年
九州法学校を源流として

九州国際大学は1930年の「九州法学校」を源流として、2010年で80年を迎えます。80周年を迎えるにあたり、学生のアンケートをもとに左のデザインが決定されました。



1958年、枝光に誕生した九州国際大学付属高校（男子部）は、2008年で創立50周年を迎えました。このシンボルマークは創立50周年を記念して作成されました。